



Company Profile

2020 - 2021

会社案内



イオンモール株式会社



Top Message..... P4

「暮らしの未来」をつくる

ショッピングモール開発..... P6

個性豊かなモールづくり..... P8

テナントリーシング..... P10

ショッピングモールの管理・運営..... P12

専門店とのパートナーシップ..... P14

「ハピネスモール」への取り組み..... P16

成長し続けるモールとして..... P18

海外事業(中国)..... P20

海外事業(アセアン)..... P22

デジタルイノベーション..... P24

新たな事業フォーマットの展開..... P26

持続的な発展をめざして

お客さまの安全、安心のために..... P28

環境保全活動..... P30

地域・社会への貢献..... P32

イオンモールの理念

基本理念

お客さま第一

経営理念

イオンモールは、地域とともに「暮らしの未来」をつくる
Life Design Developerです。

※Life Designとは
商業施設の枠組みを越えて、一人ひとりのライフステージを見据えたさまざま
な機能拡充を行い、ショッピングだけでなく、人との出会いや文化育成など
も含めた「暮らしの未来」をデザインすること。

経営ビジョン

アジア50億人の心を動かす企業へ

- 私たちは、パートナーとともに、地域の魅力を磨きつづける究極のローカライズに挑戦します。
- 私たちは、一人ひとりがLife Design Producerとして、商業施設の枠組みを越え、新たな「暮らし」を創造する事業領域を拓き、成長し続けます。
- 私たちは、世界中の拠点をはじめとする全ての資産を活かし、持続的に発展することで、強い財務体質と強固な事業基盤を構築します。
- 私たちは、革新し続けるプロフェッショナル集団です。
- 私たちは、お客さまに徹底して寄り添い、生涯わすれえない思い出となる最良の体験を共有します。

コーポレート・メッセージ

ひと、まちも、きらきら。

地域の発展に寄与するモールづくりを通じて 継続的な成長をめざします。

当社は、イオングループの中核企業として大型ショッピングモールの開発および管理・運営を行っており、日本全国に加え、中国、アセアンにおいて約200施設を展開しています。

「Life Design Developer」として、人々のライフスタイルの向上と地域社会の発展に貢献することを指針としており、ローカライゼーションの視点に基づいたエリアごとに個性あるモールづくりを国内外で推し進めています。

国内、海外ともに、ニューノーマル(新常態)を見据えた新しい生活スタイルにより、さらに変化が加速していきます。当社では、出店する地域の皆さまに、安全、安心、快適さを提供することはもちろん、新たな生活様式に対応したサービスや機能を提供してまいります。

当社では、2025年にめざす姿としてアジアNo.1ディベロッパーを見据えており、海外では、中間所得層の拡大などを背景とした成長力の高いエリアへの出店を積極的に進めてまいります。

国内では、活性化によるモールの鮮度・魅力の維持向上とともに、地域の公共機能やコミュニティ拠点としてのモール機能の向上などにより、地域No.1のモールづくりに取り組んでまいります。

今後も「地域に提供すべき価値は何か」という視点から、お客さまをはじめとする地域の方々や事業パートナー、従業員などすべてのステークホルダーの皆さまとともに、地域の発展に寄与できるモールづくりを推し進めてまいります。

イオンモール株式会社
代表取締役社長

岩村 康次

「暮らしの未来」をつくる ～事業のご紹介～

私たちの仕事は、その地域に求められるショッピングモールをつくり、その価値を可能な限り高め続けていくこと。

地域の皆さまの暮らしをデザインする商業ディベロッパーとして、開発から管理・運営までトータルなモールビジネスに携わっています。

ショッピングモール
開発

個性豊かな
モールづくり

テナント
リーシング

ショッピングモールの
管理・運営

専門店との
パートナーシップ

「ハピネスモール」への
取り組み

成長し続ける
モールとして

海外事業
(中国)

海外事業
(アセアン)

デジタライゼーション

新たな
事業フォーマットの
展開

◆ ショッピングモール開発

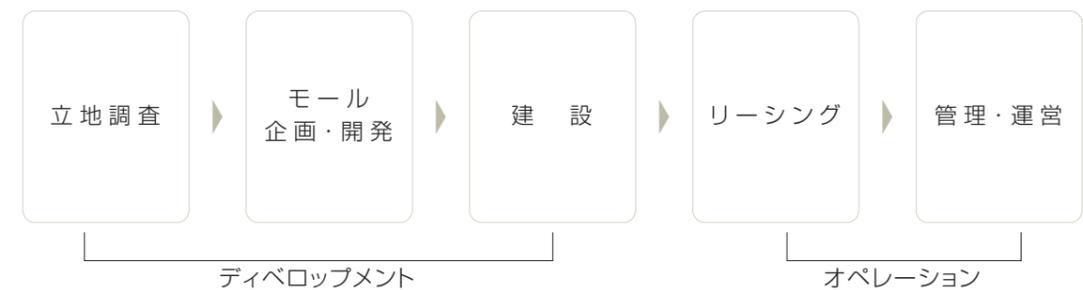
地域とひとつになって
愛される商業施設をつくります。

これからのショッピングモール開発は、まちづくりから暮らしづくりへ。
私たちが果たすべき役割は、モノやサービスの提供にとどまらず、
地域の皆さまの暮らし、そして未来そのものをモールで実現することにあります。

そんなモールをつくるためには、
地域の自治体や周辺に暮らす住民の皆さまとの連携・協力が欠かせません。
開発にあたっては、初期段階から時間をかけて信頼関係を構築し、
丁寧な説明とともにご要望を伺い、完成形のイメージを共有しながら開発を進めます。
これまでも地域と一体となり、新しい産業振興や都市整備の中核事業として位置づけられた
モールの開発を数多く手がけてきました。

開発に先立って、私たちは周辺道路の交通状況や自然環境に与える影響を調査し、
必要に応じてモール周辺の道路整備、環境保全対応などを計画に盛り込みます。
また、将来における市場動向やライフスタイルの変化を見据えて、
数年後の増床に対応する余地を設けるなど、長期的な視点で
地域の皆さまのニーズに応えることを重視しています。

ショッピングモール開発の流れ



イオンモール津南(三重県) :約40年営業したイオングループの旧店舗を建て替え、規模を拡大。地域のランドマークとして生まれ変わりました。



◆ 個性豊かなモールづくり

ひとつひとつに特色があり

地域の魅力あふれるモールを展開します。

そこにどんな商業施設ができれば、

お客さまのニーズに応え、地元の皆さまから愛されるか。

私たちが新たにモールを出店する際には、立地条件やマーケットの状況、

そして地域のさまざまな関係者とのコミュニケーションを通じて、

ゼロからモールコンセプトを策定していきます。

モールづくりの考え方にひとつとして同じものはありません。

外観や内装にそれぞれの地域の特色を反映するのをはじめ、

店ぞろえやイベントにもコンセプトを一貫させることで、

そのモールならではの特徴を打ち出しています。

また、それぞれの地域が長い歴史の中で培ってきた文化・産業・観光資源などを

遠方から来店されるお客さまにお伝えするとともに、

地元の方にもその魅力を再発見していただけるコンセプトゾーンを設けるなど、

地域に寄り添ったモール運営に努めています。

地元暮らしの皆さまと心をひとつに、

地域に根ざし、将来にわたってともに成長していく

商業施設をめざします。



イオンモール天童(山形県)

将棋駒生産量日本一の天童市にちなみ、外観東側、西側に日本最大となる将棋駒をパンチングメタルで表現。館内には、県名産のラ・フランスやさくらんぼなどをイメージしたイベントスペースを3箇所に設置しました。



イオンモールいわき小名浜(福島県)

福島臨海鉄道の小名浜駅跡地にオープン。レールや車輪をシンボル化したメモリアルポケットパークを設置し、地域の記憶や周辺施設とのつながりを継承するほか、いわき市が掲げる復興のシンボルとして防災モールの機能を担っています。



◆ テナントリーシング

魅力的かつ回遊性の高いテナント誘致を実現し、
お客さまの多様なニーズにお応えします。

多様化するライフスタイルに応えるためには、
バラエティ豊かな商品・サービス・情報を取り揃えることが不可欠です。
私たちは豊富な経験と実績に基づくマーケティング力、そして多業種にわたる企業さまとの
ネットワークを活用し、緻密に計算された独自のテナントリーシング
(テナント企業さまの誘致契約)を行っています。

館内の回遊性を高めつつ、ショッピングしやすい環境を整えるために、
ゾーニング(専門店の配置)にもさまざまな工夫を凝らしています。
近年では「コンセプトゾーン」として特定のジャンルや
テーマに沿った専門店を集中的に配置することで、
ゾーン全体に独立性をもたせる試みを積極的に行っています。

また、地域の皆さまの生活を支えるインフラ拠点として、
物販や飲食はもちろん、シネマコンプレックスやアミューズメント施設、
さらには医療機関、行政窓口、銀行、郵便局など公共性の高いサービスをバランス良く配置。
楽しさと利便性を兼ね備えた、地域にとってなくてはならないショッピングモールとして、
あらゆる世代のお客さまから高い支持をいただいています。



◆ 総合クリニック

イオンモール幕張新都心(千葉県)の一角を占める総合クリニック「ドクターランド」。内科、小児科、歯科など20の診療科目が揃い、土日・祝日・夜間診療にも対応しています。



◆ シネマコンプレックス

多くのモールで映画館の出店を誘致。最新作の上映はもちろん、オペラの上演や地元自治体の成人式を開催するなど、出店企業と協力して新たな活用にも取り組んでいます。



◆ ショッピングモールの管理・運営

いつもお客さまでにぎわい、
笑顔があふれるモールへ。

私たちは、お客さまが常に安全で快適な時間をお過ごしいただけるよう、
365日きめ細かな管理・運営を行っています。

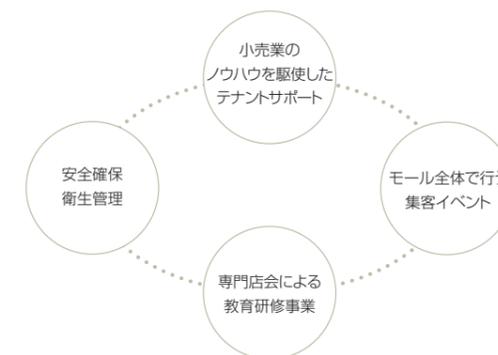
各モールでは、独自のマーケットリサーチを行い、より多くのお客さまに
足を運んでいただくためのさまざまなプロモーションやイベント、
販売促進活動を企画・実行しています。

専門店に対しても接客力向上教育、売上情報の収集・分析、アドバイスなど
密接なパートナーシップをベースに、多角的なサポートを行っています。

また、ご来店されるすべてのお客さまが安心してお買い物やお食事を
楽しむことができるよう、防災・警備・清掃などの強化に努めるとともに、
食品衛生管理や排水の水質管理も徹底を図っています。

また定期的に専門店を含む全従業員が参加する防災訓練を実施し、
一部のモールでは津波やテロを想定した対策訓練も実施しています。

モール運営の特徴



モールの管理業務

施設の稼働状況、温度管理、駐車場や館内の誘導、清掃など、パート
ナー企業とも協力して館内のすみずみに目を配り、常にお客さまが
安全で心地よく過ごせるように配慮しています。



◆ 専門店とのパートナーシップ

お客さまだけでなく、
テナントからも選ばれるモールへ。

各専門店が営業しやすい環境を整え、営業力を引き出すのも私たちの大切な役割のひとつです。
イオンモールは小売に精通したディベロッパーとして、各専門店と確かな
パートナーシップを構築しています。

海外のモールにおいても販売促進につながるデータやノウハウを専門店に提供し、
定期的な接客研修を通して国内で培った質の高い接客技術を伝承するなど
全館で協力してお客さまに確かなご満足いただけるモールづくりに努めています。
さらに国内で約10年にわたって開催してきた接客ロールプレイングコンテストも海外へ展開し、
各国で大規模な全国大会を開催しています。

また、国内の各モールでは館内に保育園の設置を進めることで
小さなお子さまを預けて安心して勤務できる態勢を整えるほか、
広く快適な休憩スペースや従業員専用のコンビニエンスストアの設置を推進。
専門店が従業員の雇用を確保しやすく、また採用された従業員が
長年にわたって活躍できるように職場環境の整備を進め、
ともに成功をめざすパートナー企業としての協力体制と信頼関係を築いています。



イオンゆめみらい保育園

イオングループおよび専門店従業員のお子さま（0歳から就学前まで）をお預かりする事業所内保育施設「イオンゆめみらい保育園」の導入を進め、子育てをしながら働く方の活躍を支援しています。



快適な職場環境の提供

従業員専用のコンビニエンスストアを設置するほか、休憩室のテーブルに適度な間仕切りを設け、パウダールームを併設するなど、専門店従業員のご要望を反映して職場環境の向上に努めています。



◆ 「ハピネスモール」への取り組み

すべてのお客さまに、
より豊かでしあわせな毎日を。

当社では地域のお客さまの健やかな暮らしや心の豊かさを
サポートする「ハピネスモール」を全社を挙げて推進しています。
必要なモノやサービスが揃うだけでなく、訪れるたびに元気が出る。
笑顔がこぼれる。健康になる。そんな商業施設をめざします。

広い館内でウォーキングを楽しんだり、生演奏やアートに胸をときめかせたり。
声を出して笑ったり、こころゆくまでリラックスした時間を過ごしたり。

新しい体験、新しいコミュニケーションから心身ともに
いっそう健やかな日々を地域の皆さまにお届けする拠点として、
それぞれのモールが新たなチャレンジに取り組んでいます。

イオンモールは ハピネスモールのへ

Health

ココロとカラダを、
楽しく元気に

Wellness

感動と癒しが、
広がる空間に

Community

地域の笑顔が、
あふれる場に

Opportunity

豊かな暮らしのための
商品・サービス体験機会を



運動の機会を提供(Health)

健康増進を目的に館内を歩く「イオンモールウォーキング」のコース
を各モールに設定。運動習慣のない方でもショッピングを楽しみなが
ら体を動かせると好評をいただいています。



文化との出会いを創出(Wellness)

人生をより豊かにする新たな趣味や楽しみと出会う機会を提供する
ために、落語、オペラ、歌舞伎などの文化に気軽にふれていただける
イベントを開催しています。



イオンモール宮崎（宮崎県）：敷地南側に約62店舗を擁する2階建ての増床棟「サウスモール」を新設。九州最大級のモールへ進化しました。



増床エリア

イオンモール宮崎(宮崎県)

成長し続けるモールとして

いつも新しい発見があり、
いつまでも輝き続ける商業施設へ。

目まぐるしく変化する市場やライフスタイルに
先んじて対応し、いつまでも価値の高い商業施設として地域から支持され続けるために、
私たちは蓄積してきたノウハウを用いて定期的にモールのリニューアルを行います。

リニューアルでは、周辺環境やお客さまのライフステージの変化に合わせてコンセプトを再構築し、
大規模な増床やゾーニングの見直し、専門店の入れ替えを実施するとともに、
施設の改善を行い、常に新鮮さの維持に努めています。

また、より安全で快適な動線を確認し、
自然エネルギーを活用する最新の環境設備を導入するなど
「人と環境に配慮したモールづくり」を推進しています。
大人から子どもまで、各世代のさまざまなニーズを満たす時間をご提供するとともに、
訪れるたびに驚きと感動があるモールづくりをめざしています。



イオンモール名取(宮城県)

オープンから12年を経たリニューアルで東北最大級の240専門店へ
スケールアップ。2階には開放感あふれる吹き抜け空間「社のテラス」
を設置し、地元を中心とした人気の飲食店を配置しました。



イオンモール東浦(愛知県)

2001年のオープン以来最大規模のリニューアルで東側敷地に増床
棟を新設。ご要望の多かったライフスタイル雑貨専門店や大型ファッ
ション専門店を導入するなど全体の約70%を刷新しました。

◆ 海外事業(中国)

ブランド価値の向上とともに
さらなる成長ステージを迎えています。

中国では初出店から10年あまりで20を超えるモールを展開してきました。
成長著しい4つのエリアへ集中して出店し、各地域でドミナントを形成してきたことが
ブランディング強化やシェア拡大につながり、リーシングの面でも大きな効果を発揮して
競争力のあるモールづくりを進めています。

いずれのモールも広い駐車場を備えてアクセスが良く、きめ細かな運営により
快適にショッピングが楽しめることなどがファミリー層を中心に好評をいただいています。
また、顔認証による決済システムの採用、人工知能(AI)搭載の館内ご案内ロボットの導入など
モールのデジタル化を進め、新たなショッピング環境の創造に取り組んでいます。

各モールではローカルスタッフの育成にも注力し、マネジメントの現地化を推進。
今後はマーケットの成長性が特に高い内陸部を中心に出店エリアの拡大を図るとともに
既存モールのリニューアルにも取り組み、持続的な成長をめざします。





海外事業(アセアン)

各国の伝統や文化と調和しながら
新たなライフスタイルを提案します。

アセアンにおいては、インドネシア、ベトナム、カンボジアの3ヶ国でこれまでに9モールを展開。
各国の大都市近郊にドミナント出店することで地域における優位性を高めるとともに、
丁寧な接客、日本文化の発信、環境への配慮など、商業施設としての新たな価値を打ち出すことで
地域の皆さまから高い評価をいただいています。

アセアンの中でも国民の平均年齢がきわめて低く、高い経済成長率を維持するカンボジアでは、
首都プノンペンに2モールを出店しています。
2号店となる「イオンモール センソックシティ」は、室内遊園地などの
カンボジア最大のアミューズメント施設やパスポート発行センターといった行政機関を擁しており、
これまでとは異なる文化や体験との出会いを創出する場として、地域の皆さまにご好評をいただいています。

ベトナムでは地域最大規模のフード&エンターテインメントを展開する
「イオンモール ハドン」などハノイ市に2モール、ホーチミンエリアにも3モールを出店。
幅広い世代のお客さまからご支持をいただいています。

さらに、人口約2億6千万人を擁するインドネシアでは首都ジャカルタ周辺に2モールを展開。
「イオンモール ジャカルタ ガーデンシティ」は同国最大級となる観覧車やシネマなどを備えた
エンターテインメントモールとして、新しい体験やライフスタイルをご提案しています。



デジタルイノベーション

最新のテクノロジーを積極的に導入し、
いっそう便利で快適な「スマートモール」をめざします。

当社は、消費環境の変化やデジタル化の進展に対応し、幅広い世代のお客さまの来店動機の創出と
ショッピング環境の向上につながる「スマートモール」を国内外で実施しています。

すでに中国のモールでは双方向通信を備えたデジタルサイネージ、顔認証のレジシステム、
人工知能(AI)搭載の館内ご案内ロボット、サイネージを活用したデジタル試着などを
導入して効果測定を進めています。

国内のモールでも、館内専門店の商品を1箇所から横断検索できる「お買い物ナビ」、
シニアのお客さまが座ったまま移動できる「ショッピングモビリティ」の貸し出し、
多言語翻訳機を活用したインバウンド対応など、より快適でストレスフリーな
ショッピング環境の実現に向けてパイロット店舗で実証を行っています。

また、館内設備をIoT化して一括制御するインテリジェントコントロールの導入や
専門店の各種届出書の申請・承認などを業務用タブレットで省力化・ペーパーレス化するなど
モールの管理・運営全般において業務のデジタル化を推進しています。



バーチャル試着

中国の一部モールに導入したバーチャル試着は、館内の専用サイ
ネージを利用して各専門店の洋服をモニター上で自由に試着で
きるシステムで、初回登録後はスマートフォンでも利用できます。



ショッピングモビリティ

座って館内を移動できるオリジナルの電動モビリティを開発。安
心感のある操作性、大きなカゴの設置など随所に工夫を凝らし、
特に年配のお客さまから好評をいただいています。

NGÀY 5/12
AEON MALL
HÀ ĐÔNG
CHÍNH THỨC "LÊN SÓNG"
AEON MALL
HÀ ĐÔNG
Trung Tâm Bách Hóa Tổng Hợp
& Siêu Thị AEON mở cửa ngày 26/11
*Địa chỉ: Hoàng Văn Thụ, Phường Dương Nội, Quận Hà Đông, TP Hà Nội

KNITTING THE HÀ ĐÔNG'S FUTURE



新たな事業フォーマットの展開

商業施設の新たな可能性を追求し、国内需要の発掘を実現します。

当社は、これまで取り組んできた商業施設とは異なるビジネスフォーマットの展開も積極的に進めています。

2018年には、地域創生型商業施設「THE OUTLETS」の1号店を広島県にオープンし、2号店「(仮称)八幡東田プロジェクト」の開発計画を福岡県北九州市で進めています。

さらに、新たな需要に応える試みとして「働く人と企業を支えるオフィス複合型商業施設」を構築し、その1号店として愛知県名古屋市において「(仮称)ノリタケの森プロジェクト」を推進。「Common Base」を開発コンセプトに掲げ、来街者、都市生活者、オフィスワーカーが自らの暮らしを磨くモノ・コト・ヒトに出会うことができる「生活基盤」をめざします。

また、ベトナムにオープン予定の「(仮称)イオンモール ホアンマイ」でも上層階にオフィスを設け、快適で利便性が高いオフィス環境をご提案してまいります。

持続的な発展をめざして ～地域・社会との調和～

すべてのお客さまが安全に、そして安心して快適な時間が過ごせること。
地域の発展に貢献すること。そして、美しい環境を未来へ引き継ぐこと。

必要な商品やサービスを提供するだけでなく、
「いつまでもここにあってほしい」と皆さまから望まれる商業施設であるために、
イオンモールはさまざまな取り組みを続けています。

お客さまの安全、
安心のために

環境
保全活動

地域・社会への
貢献



◆ お客さまの 安全、安心のために

不測の事態を想定して
毎日の地道な努力を続けます。

モールの管理・運営の中で、最も優先されるのはお客さまの安全です。
事故防止や食品衛生管理はもちろん、災害が発生した際の安全性を確保するために、
私たちはさまざまな取り組みを行っています。

国内のモールの大半は防災活動への協力などに関する協定書を地方行政と締結しており、
万一の災害時にはイオンモールが地域の防災拠点として機能するための体制を整えています。
さらに、近年にオープンしたモールでは建物の耐震性能をいっそう強化しているほか、
停電時にもガスインフラを利用した自家発電システムによって施設の機能維持に必要な電力を供給し、
受水槽内の水を飲料水として利用できるようにするなど、
被災時の復興拠点としての機能確保にも努めています。

平成30年7月豪雨や令和元年房総半島台風など大規模な自然災害が発生した際には、
駐車場の開放や充電スポット・飲料水の提供を行うなど、各地のイオンモールが
周辺住民の皆さまの一時避難場所や災害復旧の拠点となりました。

これからも、地域の皆さまから「イオンモールにいれば安全だ」と
思ってもらえるよう、たゆまぬ安全性の追求を続けます。



◆ 飲料水の確保

非常時の断水・停電状態でも受水槽内の水を飲料として利用するために災害時用バルブを取り付けています。



◆ 企業間の防災協定

令和元年房総半島台風により千葉県で大規模な停電が発生した際には、東京電力ホールディングス（株）とイオン（株）が締結していた相互支援協定に基づき、イオンモール木更津が復旧拠点となりました。



環境保全活動

今を輝かせるだけでなく、次の世代も輝き続けるように、持続可能なモールづくりをめざします。

当社は地域に密着した事業活動を行う企業として、「人と環境に配慮したモールづくり」を実践し、社会の持続的な発展に貢献するための取り組みを積極的に行っています。

1991年より取り組んできた「イオン ふるさとの森づくり」は、地域に自生する樹木の苗木をお客さまとともに植樹する活動で、グループでの累計植樹本数が1,212万本を超えました。

CO₂排出などの環境負荷を低減するために、各モールでは自然エネルギーを活用する環境設備などを導入するとともに、LED照明への切り替え、EV（電気自動車）の充電ステーション設置、公共交通機関の利用促進などを行っています。また、モールの開発にあたっては生物多様性にも配慮し、これまでに9モールが一般社団法人いきもの共生事業推進協議会（ABINC）の「いきもの共生事業所[®]認証（都市・SC版）」を取得しました。

中国では、10モールが同国の環境評価基準制度によって認証される「緑色二星」（設計段階）を取得。企業や市民の環境意識が急速に高まる中で、EV（電気自動車）充電器の設置拡大や自然エネルギーの活用などに積極的に取り組んでいます。



自然エネルギーの活用

太陽光発電システムを順次導入し、海外のモールでは館内で使用する電力の一部をまかっています。発電量などのデータはリアルタイムでお客さまがご覧いただけるようにしています。



EV（電気自動車）の利用促進

電気自動車の使用や環境整備促進をめざす国際的なイニシアチブ「EV100」へ日本企業で初めて参加。国内・海外のほぼ全モールにEV充電器の設置を完了しています。



地域・社会への貢献

地域の振興に寄与するとともに、
社会的な課題の解決に取り組みます。

私たちは、「地域の発展なくしてモールの発展はない」というポリシーのもと、
地域とのさらなる共生をめざしています。

モールの出店は、地元企業のビジネスチャンス拡大、
人口や税収の増加など、地域経済の活性化に広く貢献します。
あわせて、祭事などの伝統行事や市民のさまざまな文化活動へのサポートを行うなど、
地域になくてはならないコミュニティの中心となるモールづくりに取り組んでいます。

また広く社会の一員として、私たちは社会へ貢献することを大切に考えています。
各モールで行う募金活動や献血活動に多くのお客さまのご協力をいただいているほか、
さまざまな課題の解決をめざす機関や団体に館内の活動スペースを提供するなど、
皆さまとともにより良い社会の実現に努めてまいります。



地域行事のサポート

それぞれの地域に伝わる祭事などを尊重し、会場の提供をはじめ
各種のサポートを実施。商業施設の枠を越えて地域コミュニティの
中心的な役割を果たしています。



クリーン&グリーン活動

1991年よりイオングループで取り組む「クリーン&グリーン活動」の一環
として、毎月11日のイオン・デーには専門店の従業員も参加して、開店
前にモール周辺の清掃活動を行っています。

人が集う場だから、できること。



手のひらの上でもショッピングができる時代。

これからの商業施設には新たな役割が求められていると私たちは考えます。

たとえば、家族や友人の笑顔とともに楽しむ食事。

新しい趣味やライフスタイルとの出会い。生の音楽やアートにふれて感性を磨く体験。

体を動かしたり、心から笑ったりする喜び。同じ地域に暮らす人たちとのふれあい。

従来の商業施設の枠を越えた暮らしの拠点として、ひとつひとつのイオンモールが、

新しい価値の創造に挑んでいます。

ひと、
まちも、
きらきら。

イオンモール株式会社

〒261-8539

千葉県千葉市美浜区中瀬 1丁目5番地 1

TEL: 043-212-6450(代)

<https://www.aeonmall.com>



イオンモール株式会社は、
環境マネジメントシステムの
国際規格「ISO14001」の
認証取得企業です。



本冊子は適切に管理された森林資源および管理原材料を使用した紙を用い、植物油インキを使用するとともに、印刷時に有害な廃液が出ない「水なし印刷」で印刷しています。

